

たてやま

議会だより



No. 99

2026.8.1



立山町HPは
こちら

令和8年 6月定例会号



Summer Festival

5月臨時会、6月定例会・概要(注目事業)	2
総務教育・産業厚生常任委員会の審議	3
一般質問・質疑概要、賛否一覧	4・5
総務教育・産業厚生常任委員会所管事務調査	6
雄山高校存続について、新規採用職員本会議傍聴 ハッピーバースデー	7
一般質問	8~10
議長交際費支出状況・政務活動費収支報告	11
町村議長会表彰・あとがき	12

TOPICS

分割質問が始まりました! 4

撮 影 日／令和7年8月23日
撮影場所／下前沢公民館前(前沢11区)
撮 影 者／大石 勝 様

令和8年度一般会計補正予算額 **8,077万円**

一般会計総額 137億7,677万円

令和7年度一般会計補正予算額 **3億4,568万円**

(専決処分) 一般会計総額 160億4,740万円

(5月臨時会、6月定例会の合算)

◆ 主なもの

多言語対応
「観光ガイドアプリ」の導入
(観光対策事業)

738万円

(商工観光課)

(仮称)立山町観光・
暮らし情報館建築
主体工事請負契約の締結

1億3,926万円



完成
イメージ図

(企画政策課)

日本酒貯蔵施設
天井結露対策工事
(立山ブランド海外展開戦略)
拠点施設管理事業

650万円

(商工観光課)

大森グラウンド改修
及び夜間照明LED化
(公民館施設整備事業)

1,600万円

(教育委員会)

称名滝遊歩道に高周波の音で
クマの侵入を抑制する
忌避装置の導入等
(称名滝地区管理事業)

120万円



(商工観光課)

林道長倉線・塔倉山線
災害復旧工事請負契約の締結

林道長倉線 2号箇所:

1億3,574万円

林道塔倉山線 5号箇所:

7,826万円

(農林課)

委員会の審議

町議会では、2部門の常任委員会に分かれて、提出議案を審議しています。



企画政策課

Q 「公共施設等再編化事業」での新庁舎整備に係る視察先について。

A 視察先は未定だが、既存の国の補助金を活用して整備したところを中心に、庁舎DX、地元産木材使用、職員が快適に仕事ができる環境などの観点から選定する。

教育委員会

Q 「小学校管理事業」のレンタルで導入する、釜ヶ淵小学校屋内運動場のスポットクーラーの効果について。

A スポットクーラーは屋内運動場全体を冷やすものではなく、運動中に体温が上がれば体を冷やすクーリングスポットとして運用する。

健康福祉課

Q 「保育所等運営事業」での、幼保小接続推進事業の詳細及び予算の目的は。

A 新入学児童が、学校生活にスムーズに移行できるように、保育施設と小学校が連携して取り組むもので、参考図書を購入し、7保育施設、6小学校の教職員向けに配置する。

農林課・農業委員会

Q 農業次世代人材投資事業補助金のこれまでの成果は。

A 新規就農者に3年間資金を給付する事業である。昨年度は4人の新規就農があった。これからも新規就農者をこの資金で支援したい。

商工観光課

Q 「物価高騰対策地域消費喚起事業」の申請審査・臨時窓口開設業務の減額理由は。

A たてぽ5,000ポイント給付事業の申請方法は、町から対象者あてに申請書を送付するプッシュ方式に変更した。対象者は、必要事項を確認、修正のうえ返送するか、Web申請でも簡単にできるため、臨時窓口は必要ないと判断した。

Q 「観光対策事業」について、開発する観光ガイドアプリの詳細は。

A アルペンルートのインバウンド観光客などに対し、平坦地への周遊を促し、体験型周遊ツアーの表示や訪問先写真のアップロード、クマなどの緊急情報の表示ができる多言語に対応した、観光ガイドアプリである。今年10月に仮リリースを予定している。

条例の審議

立山町行政手続条例の一部改正

Q 公示送達方法のデジタル化による個人情報保護や守秘義務に係る基準、デジタル公示に係るコスト、デジタル公示の具体的方法について。

A 今回の改正は、法律の一部改正によるものであり、個人情報保護等の基準は国に準じたものとなる。また、コストについては町ホームページに専用ページを設けて掲載するため追加費用はかからず、公示方法はこれまでの庁舎掲示場に加え、町ホームページに掲載する。

立山町水道事業給水条例の一部改正

Q 給水装置の新設等に係る分担金が平成12年度以降改正されなかった理由は。

A 平成12年以降、物価上昇が緩やかだったため、改正しなかった。近年急激な物価上昇が続く、また、令和8年3月定例会で議員からも指摘があり、改正に至った。今後は水道使用料と同じく定期的に検討を行っていく。

総務教育常任委員会

新庁舎整備視察先は地元産木材や環境への観点から選定

産業厚生常任委員会

観光ガイドアプリの詳細は外国人向け多言語、平地周遊促進ガイド

一般質問

9名の議員が質問を行いました。
一部の質問・答弁について、その要旨を掲載しています。

立山町議会
YouTube
チャンネル▶
本会議の動画を配信しています。



賛否はこちら▶



その他の質問は
こちら▶



詳しくは、図書館や議会事務局に会議録があるほか、町ホームページでも見ることができます。
<https://www.town.tateyama.toyama.dbsr.jp/index.php/>



本定例会より、分割質問・分割答弁が始まりました！

再質問では緊張感のある場面もありましたが、真摯な姿勢で一つ一つ質問を重ねました。また、効率的な議会運営を目指して、本会議において「ペーパーレス端末機」の使用もスタートしています。

町長 地域通貨たてポの加盟店は、制度開始以来順調に増加し、現

議員 物価高騰対策でたてポ5,000ポイントが付与される。町民の利便性が増すにはスーパーやドラッグストアで利用できることではないか。
また、移動販売車での使用も望まれている。さらなる店舗利用拡大はできないか。

たてポ

スーパー等で
利用可能にすべき

可能性は探っていく



後藤 智文 議員

建設課長 「立山町都市公園長寿命化計画」では、令和13年度に洋式化を実施する予定である。しかし、小さな

議員 前沢中央公園は、町中心部の公園として多くの町民に親しまれている。しかし、このトイレはまだ和式トイレである。時代の流れでもあり、子供や高齢者が利用することを考えると洋式トイレに変えるべきではないか。

前沢中央公園のトイレ洋式化を

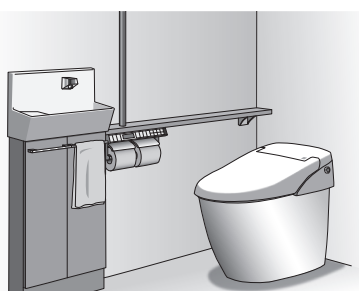
公園整備

在87店舗となっている。スーパーマーケットやドラッグストアなど、日常的に利用する店舗で利用したいとの声がある。
大手小売店については、独自ポイント制度との調整や運営面での課題はあるが、利用者

の利便性向上は重要なので引き続き加盟の可能性を探っていく。
また移動販売事業者については、町内で活動を進めるとともに、加盟店協会の規約との整合を調査しながら利用拡大を検討していく。

実施の前倒しを検討

子供から高齢者まで多くの方の利便性を向上させるため、早期の対応が必要であり、実施の前倒しを検討する。





堀田 努 議員

米粉用米 生産推進を

情報提供・技術指導
を行う

町長 米飯離れが懸念
される中で、米粉など

が、見解を問う。
米粉の需要が国内外
で高まっていることか
ら、米粉用米の生産が
今後の課題と考える

議員 米の値上がりにより、消費者の米飯離れが懸念される。米作の根幹を揺るがすことにならぬよう、米飯以外の米の生産を見直すことが急務と考える。立山町や県内国内のみならず、全世界でも小麦アレルギーは大きな問題となっている。

の原料用途への活用は、新たな米の需要拡大に繋がり、米価の安定化にも寄与することが期待できる。

米粉用米は国の「水田活用の直接支払交付金」の対象となり、米粉原料の収入に加え、国の補助金も受けられ

小規模米作農家

今後の支援の見解は

農作業委託などに取り組む

議員 耕作面積が一町分（1ヘクタール）に満たない農家の人は、一緒にこの先農業を続けることができないと話される。

後継者がいない、農機具の買い替えは不可能、儲からない農業を次の世代に託すことをしたくない、などが本音と思う。これからの小規模米作農家について、町としての見解を問う。

町長 町内の約3割が

るため、主食用米と比べて販売単価が低くても収入を確保できる。富山県農林水産総合技術センターでは、米粉用品種が研究され、作付けが始まった。今後、農業者への情報提供や技術指導を行う。

経営耕地面積1ヘクタール未満の農家であり、地域の農業・農地を守る一翼を担っている。農機具等の国の補助事業は、認定農業者や農業法人等を対象としたものがほとんどである。現在、複数の農家による農業機械の共同利用や、農機具メーカーによるシェアリングサービスを利用し対応されている。町としては、農業委託・農地引受けに取り組んでいく。

農地整備

大区画化に向けて

積極的に推進している



宇佐美 淳 議員

議員 農作業の省力化と生産コストの低下をめざし、「稼ぐ農業」の土台となる農地の集積、大区画化事業は必要である。事業実施においては、立山町も工事費の10%程度を負担しなければならぬと認識している。その支出についての可否を問う。またその事業に伴い、高収益作物の生産量増

加を図りつつ、農業所得の向上に向け、特産野菜の開発を目指した、協議検討組織を新設する考えはないかも併せて問う。

町長 町としても積極的に推進している。加えて高収益作物の生産額の増加にも取り組んで

開発許可公園の新設

多数必要なのか

県への要望を検討

議員 宅地開発の許可を受けるには、開発面積の3%以上の公園を設けなければならない。しかしながら新設公園は町に帰属され、その維持管理に費用がかかると認識している。

町長 周辺に既存の公園がある場合は特例により設置不要も可能と考える。柔軟性を持った対応ができないかを問う。

者であり、町は判断する立場ではない。しかし県に確認したところ、設置基準の緩和を検討中であり、市町村に意見照会する予定との回答であった。意見照会があれば、維持管理等が困難な公園の設置を不要とできるよう、設置基準の緩和を要望することを検討している。

いる。地権者の同意や営農計画等を策定したうえで、要件を満たせば、国や県に要望する。協議検討組織はすでにある。町としても特産野菜の開発、生産増加に取り組む。

総務教育常任委員会 所管事務調査



●実施日 令和8年5月18日(月)

●参加委員 委員長 松倉 勝実 委員 宇佐美 淳 委員 佐藤 康弘
副委員長 村井 一仁 委員 髪口 清隆
議長 平井 久秋

●調査内容

消防本部所管

広報車整備事業(財源:緊急防災事業債を活用町負担3割)

広報車は、平成23年12月購入から16年経過し、本年4月現在走行距離が17万kmを超えており、修繕しつつ使用している。消防署の車両更新計画で購入が妥当と判断し、令和8年度に更新する。



広報車

消防署会議室空調設置工事(財源上記同様)

今年度の当直勤務員は11名で、仮眠室のベッド数は最大10名分であることから不足が生じている。そのため、会議室を空調設備の整った仮眠室として整備する工事。



会議室空調設置工事



大森グラウンド夜間照明LED化工事

教育委員会所管

公民館施設整備事業(財源:起債100%)

1 大森グラウンド整備工事

表層をすき取りグラウンドの土を入れ替え、表層部分の凹凸を修正するもの

2 大森グラウンド夜間照明設備LED化工事(照明柱全7基)

既設の水銀灯の夜間照明をLED化するもの



産業厚生常任委員会所管事務調査

●実施日 令和8年5月21日(木)

●参加者(議員) 委員長 澤井 峰子 委員 松原 幹昌 委員 後藤 智文
副委員長 経明 純 委員 堀田 努 委員 坂井 立朗
議長 平井 久秋

●調査内容

健康福祉課所管

あおぞら保育園中庭改修工事

施設内の中庭にある樹木の根が成長し、周辺のインターロッキングが盛り上がり、児童の安全確保のため、樹木の撤去とインターロッキングの補修を予定している。現地調査により、中長期的な維持管理と施設側として芝生を要望されていることから、計画を変更し、精査後に改修されることとなった。



あおぞら保育園中庭改修工事

建設課所管

町道塚越1号線交差点改良工事

主要地方道富山外郭環状線と町道塚越1号線の丁字となっている交差点(延長L=30m)を改良するもの。防災・安全交付金(国債55.0% 起債40.5% 一般4.5%)を活用し、令和8年8月から12月頃をめどに改良工事を実施予定である。



町道塚越1号線交差点改良工事

岩崎寺駅前公園トイレ等改修工事

公園の設置から35年が経過し、老朽化が進んでいることから「立山町都市公園長寿命化計画」に基づき、計画的な改修工事を予定している。和式トイレの洋式化、人工滝を花壇に改修、線路側に防護柵を設置し、公園内の樹木伐採を行う予定である。



岩崎寺駅前公園トイレ等改修工事

令和8年度事業の説明について

橋りょう補修、道路・消雪整備、地籍調査、住宅改修・空き家対策などの実施内容を確認した。

雄山高校存続について

県で進める「新時代とやまハイスchool構想」に対し、雄山高校存続を強く訴える町議会議員の総意のもと、令和8年3月26日に意見書を議長名で以下のとおり、新田知事に提出しました。

「新時代とやまハイスchool構想」は実施に向け、どんどん計画が進められているが、非公開の会議も多く、知らないうちに高校が減らされるような懸念が生じている。立山町において、県立雄山高校がなくなることは、町にとって甚大な影響をもたらすものと深く危惧している。「中央・大規模校ではなく、各地域に公平な配置になればいい」「各市町に一つの県立高校があればいい」「雄山高校を存続してほしい」「今でも通学に苦勞する高校生がいる。さらに拍車をかけるようなことは理解できない」などの意見を耳にすることが増えた。この構想を進めるにあたっては、もっと県民・町民の声を丁寧に聞き入れることが大事ではないかと、数多くのご意見を受け痛感したところである。

高校がなくなれば若者がいなくなり、その地域の衰退は容易に想像できる。一部の地域だけが発展するのではなく、富山県内全域の発展をご検討いただきたい。立山町と雄山高校とは、令和2年に観光やまちづくりにおける包括連携協定を締結しており、町に縁のある著名人を招き特別講義の開催、台湾へ雄山高校生を派遣し、現地での高校生や大学生との交流支援などを行っている。また、雄山高校生は布橋灌頂会や立山まつりなど、多くの町の行事や地域活動に参加している。立山町にとって雄山高校は単なる教育機関ではなく、地域・歴史・文化を支え、未来を担う人材を育成する重要な場であり、町全体の活力を維持する存在である。

地方創生の視点や、公正・公平な教育行政の運営を望む視点から、強く以下の通り要望する。

1. 富山県立雄山高等学校を存続すること
2. これまで通り各市町村に1校は確実に残すこと
3. 高校再編は地域の声を真摯に受け止め、慎重に進めること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



雄山高校



令和8年度新規採用職員が議会を傍聴



6月15日、新規採用職員が研修の一環として議会を傍聴しました。建設課 のむらさんは、「議会が町政の方向性を決定する重要な役割を担っていると感じました。また、町民生活に関わる様々な課題が検討されているのを知り職員一人ひとりの業務が町政に深く関わっていることを改めて確認しました。」と話しました。



さえきさん

こじまさん

はやしさん

のむらさん

なかかじさん

★8/1~10/31 生まれ ハッピーバースデー★



(たかしま つき)
高島 月希さん
9月20日生 2才



(さわい すみれ)
澤井 堇さん
8月5日生 5才

11/1~1/31
生まれ募集中!



応募はこちらから



議員 松原 幹昌

地域防災力向上

町防災士協議会に期待するものは

地区主体の
防災活動の発展

を問う。

町長 個人の活動から組織化することで、活動がより明確となり、自治会や行政と連携しやすくなると考える。

活動内容は、町・地域防災訓練への参加、協力を依頼、各研修会での講師依頼を想定している。町から依頼する活動については、費

用は町が負担する。また、協議会から自主活動の提案があれば、財政支援を含め検討していく。

組織化を契機に、地区主体の防災活動への発展が期待されるので、自治会や各種団体へ適切に情報提供を行うなど、防災士の活動環境を整えていく。

独自の支援制度や対策への考えはないか問う。

農作物高温障害

支援制度や対策への考えは

保険制度活用で
経営安定に

議員 豪雨や地震は、

災害として支援されてきた一方、農作物の高温被害は農家の自己責任という側面がある。近年の異常高温による農作物被害を農業災害として捉えた、立山町

収入保険は、品質や価格低下を含め、収入自体を保障できる。こうした保険の活用を通じて、経営安定に繋がりたい。町独自の支援制度は考えていない。

町長 農業共済において、風水害・干害等の自然災害や病虫害、鳥獣害による収量の減少等に対して共済金が支払われるが、高温による等級の低下等については、保証の対象とはならない。

公共施設

マネジメント計画の成果と課題は

持続可能な行財政運営
を確保する



議員 澤井 峰子

延長とした。

この10年間で、集約化による統廃合や必要性が低下した施設廃止及び解体、民間企業への貸付け等を進め、9.55%の削減率となった。

今後5年間の公共施設削減は容易ではな

いが、人口減・少子高齢化において、持続可能な行財政運営を確保していく。

現役場庁舎は築62年。様々な支援制度を調査し、計画的な財源確保に努め、適切に整備時期を判断したい。

消防庁舎

施設の現状と今後の計画は

建替えを検討すべき時期と認識

議員 役場庁舎同様消防庁舎の老朽化が年々深刻さを増している。

町民や観光客の命を守る消防職員の職場環境の充実、また、人材確保の視点から、女性消防士を受入れる環境整備は重要である。

施設の現状と今後の計画は。

消防長 消防庁舎は築53年となり、これまで耐震補強や内部改修工事を重ね、維持管理を行っているが、建物自体の老朽化や消防車両

の大型化に伴い車庫も手狭となっている。

今年度、職員の増員により仮眠室が不足し、急遽、会議室を改修し対応しているが、女性消防職員採用時を見据え、建替えを検討すべき時期にきている。

令和7年3月に町民体育館跡地に将来的な消防庁舎建設を視野にいたした計画を策定しているが、国や県の財政支援措置がないことから、今後、町施設の建替え計画や財源を含め、検討していきたい。

町長 町公共施設等総合管理計画の実効性を高めるために策定した「公共施設等マネジメント計画」は、国の指針変更に伴い、令和8年3月に改訂し、5年

の大型化に伴い車庫も手狭となっている。

今年度、職員の増員により仮眠室が不足し、急遽、会議室を改修し対応しているが、女性消防職員採用時を見据え、建替えを検討すべき時期にきている。



経明 純 議員

空き家利活用策

空き家情報の検索性 閲覧性向上を

情報の検索性向上に向け対応

町長 令和6年度は、国の臨時交付金を活用した省エネ改修支援として、設備効率化工事等で200万円を上限として1/3補助で12の自治公民館を支援した。

議員 自治公民館LED化は令和6年の補助金事業としてあったが、防災拠点機能や地域コミュニティ自体の負担を考えると、再度の継続支援が必要で有効な取組みと考える。これまでの事業評価、未実施自治公民館への今後の支援の考え方を問う。

町長 町HPの空き家情報バンクは、売買・

賃貸合わせて74件の情報量。しかし現状は情報の羅列に留まっているため利用者目線での情報整理や検索性向上が重要であると考えている。県内市町村の約3分の2が情報検索機能を導入しているのでも他市町村の利用状況や経費を踏まえ、町HPの検索性や視認性向上に向けて対応したい。

公民館LED化

未実施公民館への再支援を

耐震化補助と共に検討

議員 うち7か所にてLED化された。事業評価としては高効率エアコンやLED化等で長寿命化や公民館運営費縮減につながったと考える。令和6年度は単年度事業で現在補助制度は設けていないが、自治公民館の施設の重要性や一般蛍光灯の製造終了(2027年末)を踏まえ、LED化再支援は必要と考える。先の3月議会での自治公民館耐震工事等への補助制度検討と合わせて、LED化補助支援を検討する。



髪口 清隆 議員

有害鳥獣対策

専門チームの設置を

各課との連携を強化

議員 クマの目撃・痕跡情報が寄せられるたびに、主に農林課の職員が仕事を中断して対応にあたり、時には休日も返上しなければならず、通常の業務に支障が起きているのではないかと。これらの事にしっかりと対応するためにも、所属を跨いだ専門の対策チームの設置が急務ではと思うがどうか。

議員 学校内で体育館、音楽室、理科・家庭科室、図工室など、校内電話が設置されていないために、職員室と連絡を取る際に不便だとの声を聞く。通常時の連絡もさることながら、病気やケガまたは不審者の侵入など、緊急時には一刻を争うため、素早い対応が必要ではないか。しっかりとした連絡体制を整えるためにも、校内各箇所に電話の設置をできないか。

校内電話

緊急時のためにも設置を

する見通しとなり、各課から選出された協力員と町消防署による2班体制でのパトロールを土日祝日も含め実施した。

職員数にも限りがあるため、専門チームの設置は難しいが、庁内における協力体制や各課との連携をさらに強化し、迅速かつ的確な対応を行っていく。

構築に取り組みたい
教育長 一部の学校では特別教室や体育館に設置されていない。緊急時には防災・防犯体制における重要な連絡手段として必要な設備であると認識している。
町教育委員会 として、既存の電話の増設や未設置の教室、体育館と職員室などを繋ぐ新たな連絡手段を設けるなど、緊急時にも適切に対応できる連絡体制の構築に取り組みたい。



村井 一仁 議員

釜ヶ淵小学校 丁寧な「保護者の声」を 保護者の不安解消

だと思ふ。今後も説明会を開催してより丁寧に保護者の声を聞いて、少しでも不安を解消してほしい。

教育長 この説明会を通じて保護者の中には、統合に際して不安を抱える方が多いことが分かった。今後も打ち合わせを重ねて、通学方法や制服・体操服購入の負担、放課後の子ども

も達の居場所や交流学習などの案を提示して不安解消につなげてい。

議員 説明会など皆さんがいる場では、なかなか本音を話せない保護者の方もいらっしゃる。今後丁寧に対話をして「保護者の声」を聞いてほしい。

部活動の送迎

移動手段の現状と課題は

経済的負担軽減を検討

議員 雄山中学校では部活動の地域移行が進んでいるが、先月の新潟県北越高校のソフトテニス部の県外遠征でのマイクロバスの事故を受けて、各部活動における試合等の移動手段の現状と課題を問う。

教育課長 県内で開催

される公式大会への出場などは主に町のスクールバスを利用、県外への移動は、貸し切りバス利用や、保護者による送迎も認めている。課題として貸し切りバス、保護者による送迎の場合、経済的な負担があることから、今後は軽減につながる支援を検討する。



松倉 勝実 議員

町営バス AIデマンドの問題は

実証運行等で 町民理解

議員 町営バスの既存利用者への対応、運賃値上げへの対応、予約制への対応について問う。

町長 町営バスは、毎年4千万円相当の赤字を計上している。

今回実証運行するデマンド運行は、バスとタクシーの間に位置する交通モードであり、民業圧迫につながらないサービス設計が必要だ。システム利用料やコールセンター運営費が発生するが、希望する時間や目的地付近ま

で直接行けるため、これまでの町営バスに比べ一定程度利便性が向上すると考えている。また、予約については、アプリやライン予約に加え、電話予約も設けたい。

運転免許証返納者には、3年間の定期券の代わりにたてポのポイントを利用していただく。町は、本事業の実施に当たり、バス車内へのポスター掲示、町

AIカメラ

現状と増設を

現時点で考えていない

議員 県と民間事業者開発のAIカメラは、性能も良く県内で多数設置されている。クマ対策として当該カメラは、有効であると考え。当町の現状と来年度の増設を請う。

町長 昨年度1台購入し現在3台所有している。このカメラは、定

HP、各地区の町政懇談会、7月以降に開催予定の住民説明会、スマホ教室、試乗体験会等の機会を通じて不安の払拭に努めていく。事業実施中や実施後においても、実証運行での課題等を適切に管理し、この運行が、"ちようどいい"サービスとなるよう随時改善等に取り組んでいきたい。

点設置は行わずクマの出没情報を踏まえ、注意が必要な場所に随時設置するもので、現在は設置しておらず、新規購入は考えていない。出没情報が多数あった際には、対象エリアでの設置を検討する。

AIカメラでクマ個体を確認した際には、警察、消防、町鳥獣被害対策実施隊など関係機関と情報を共有し、捜索や捕獲、追い払いが迅速にできるよう体制を強化していく。

令和7年度議長交際費支出状況

支出済額 557,168円		志・会費	各種団体主催の総会等の志・会費
志・会費	362,265円(31件)	慶弔費	式典などのお祝金・香典等
慶弔費	106,140円(10件)	激励・協賛金	公益性のある行事等の激励金・協賛金
激励・協賛金	45,000円(6件)	その他	消耗品・印刷費等
その他	43,763円(5件)		

令和7年度政務活動費収支報告

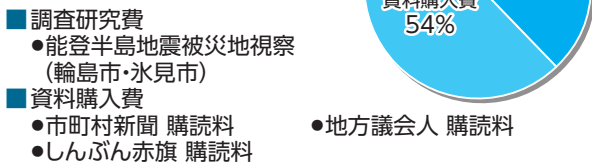
令和7年度の政務活動費は、下記のように使われました。

政務活動費は、議員が町に関する施策を調査研究するために必要な経費の一部として、報酬とは別に議員1人あたり、年額12万円(月額1万円)が交付されています。

政務活動費詳細(令和7年4月から令和8年3月分)

自民党議員会【10人→9人(R7.4末～)→8人(R8.2.10～)^{※1}】

交付額	1,080,000円
支出済額	999,134円
返還額	80,866円



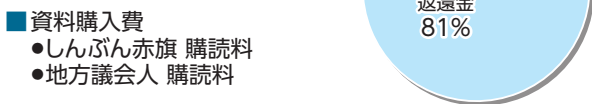
公明の会【1人】

交付額	120,000円
支出済額	92,972円
返還額	27,028円



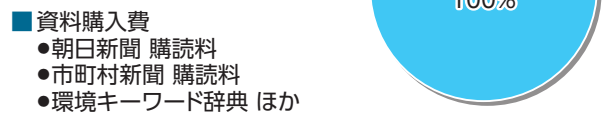
自民クラブ【1人】

交付額	120,000円
支出済額	23,352円
返還額	96,648円



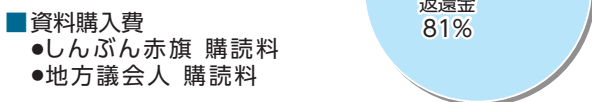
日本共産党【1人】

交付額	120,000円
支出済額	169,342円 ^{※2}
返還額	0円



自治新賛会【1人】(R8.2.10～)

交付額	10,000円
支出済額	1,946円
返還額	8,054円



※1 議員定数2議席削減のため8人となりました。

※2 交付額を超過した支出については、各会派で負担しています。



9月立山町議会定例会日程

期日	時間	会 議 内 容
2日(水)	10:00～	●本会議 (提案理由の説明) ●全員協議会
11日(金)	10:00～	●本会議 一般質問・質疑、 議案等の委員会付託
15日(火)	9:00～	●総務教育常任委員会
16日(水)	9:00～	●産業厚生常任委員会
18日(金)	13:30～	●本会議 (委員長報告、討論、採決)

★本会議の傍聴…どなたでも傍聴できます。

★委員会の傍聴については、議会事務局にお問い合わせください。

今回の
表紙
テーマは

あなたの／とおき／の一枚

他人に自慢したい風景・人(家族、友人など)・
行事など幅広くご応募ください。



応募は上記からも
可能です。

応募期間 令和8年8月1日(土)から令和8年9月18日(金)まで

応募資格 立山町に在住、在学、在勤の方

募集写真 ●1年以内に立山町内で撮影した風景、イベント、人等の写真(1人2枚まで)
●デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上5MB以下)

応募方法 必要事項「住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影日、写真タイトル」
を明記の上、USBメモリ等の持参又は郵送、電子メール等により
ご応募ください。

掲載方法 ●町HP及び議会だより本紙(11月1日発行)にて掲載します。
●掲載する情報は、「写真、氏名、撮影場所、撮影日」です。

**応募上の
注意** ●応募者ご自身が撮影した未加工のカラー写真で、未発表のものに
限ります。
●応募写真に関する著作権、肖像権等に関する責任は全て応募者
に帰属し、無償で立山町議会が使用することを許諾することと
なります。
●紙面の都合上、トリミング等の加工を施す場合があります。

応募先

〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440番地
立山町議会事務局内 議会広報特別委員会
E-mail: gikai@town.tateyama.lg.jp

佐藤議員、富山県町村議会議長会表彰を受賞

令和8年6月3日に開催された富山県町村
議会議長会臨時総会において、佐藤康弘氏
が20年以上在職したことにより、自治功労と
して表彰されました。



あ と が き

議会や議会だよりについて、みなさんの
ご意見・ご感想は

立山町議会内 議会だより係 まで

TEL 076-462-9984 FAX 076-464-1118

E-mail gikai@town.tateyama.lg.jp

図書館及び町HPの[議会会議録]もご覧ください

議会広報特別委員会

委員長	堀田 努	委員	村井 一仁
副委員長	松原 幹昌		経明 純
			宇佐美 淳
			松倉 勝実

厳しい暑さが続く季節となりました。
皆様には、水分補給、栄養摂取、充分
な睡眠等、体調管理にご留意いただき
たいと思います。

議会での議論を通じて、地域の声に
耳を傾けること、現場に足を運ぶ中で、
地域を見る・知る・考える・創ることの
大切さを実感しています。

議会だよりを通して、議会で何が
話し合われ、どのような方向を目指して
いるのかを、身近に感じていただければ
幸いです。

これからも、「開かれた議会」を目指
して、わかりやすい情報発信に努めて
まいります。

(松原 記)